開催日程：平成２９年２月２４日　１９：００～２０：１０

会　　場：介護老人保健施設　ぺあれんと　3階　研修室　　参加者：３２名

研 修 名：高齢者介護施設におけるバイタルサインに評価と急変時対応

講　　師：**宇部記念病院　地域医療連携室　看護主任　大村雅美氏**

【学習会を終えて】報告者：グループホームらくや　管理者　小林幸恵

この度の学習会は急変時の判断、心構えを学び日常の職務に役立てる事を目的に宇部記念病院

地域医療連携室　看護主任　大村雅美氏を講師に招き学習会を開催しました。

当日は・高齢者の身体状況の評価の難しさ、・高齢者のバイタルサインパニック値を理解し正しくバイタルサインを評価しよう、・スマートな急変時の対応を身につけよう、・処置が必要な急変　ケースの対応、・急変も冷静に対応するために…の５つをテーマに現場での実例を通しての講義となりました。とてもリズミカルな講義で参加者の日頃の不安や心配事の相談や質問にも丁寧に答えて頂き大変に貴重な時間を過ごすことが出来ました。参加者の皆様にこの度の研修会がこれからのお仕事に役立てば良いと思います。

【アンケートまとめ】

・看護師としての経験や実例が聞けて良かった・緊急時などの対処法がわかって勉強になりました・対応マニュアル、フローチャートを再度確認し必要があれば見直しをしていこうと思った。資料を基にしての話でとてもわかりやすかった・常に利用者さんの体調変化に注意し、急変時にはこのような対応が出来るように心がけたいです。とても良い勉強になりました・“高齢者のパニック値を理解してバイタルサインを評価しよう”と“処置が必要な急変ケースの対応”の部分が良かった・大変わかりやすく、質問に対しても的確に答えて下さり素晴らしかったです・高齢者には多い急変の時の対応。色々対応の仕方が勉強できて良かったです・観察の基本やバイタルサインのパニック値の話しなど、日常からやっていくことの見直しができました。ポイントを頭に入れて変化に気づけるようにしていこうと思いました・夜勤帯など、不安があるので緊急時等の対応を整理しておきたいと思った。心臓マッサージなど実際にマネキンを使ってやりたかった・日々の生活される姿で少しの変化がある(サイン)ところについて、学ばせてもらえて良かったです